

はじめに

本県の農業改良普及事業は、魅力ある農業・農村の再興に向けて、「先進的農業に取り組む経営体の支援」、「地域農業の振興に向けた総合的な支援」を柱とした「協同農業普及事業の実施に関する方針」の下、国や市町村、関係団体と連携して普及活動に取り組んでまいりました。

東日本大震災から10年余り、創造的な復興の取組は着実に進んでおり、ほ場の大区画化や担い手への農地集積による100haを越える大規模土地利用型経営体や、高度な環境制御技術等を取り入れた先進的施設園芸経営体が次々と誕生し、本県の農業構造は大きく変化しています。

一方、農業・農村においては、農業従事者の減少や高齢化などの恒常的な課題のほか、肥料・飼料・燃料等資材価格の高騰や頻発化する自然災害、地球温暖化による夏季の高温や暖冬による収量・品質の低下など、取り巻く情勢は厳しさを増しております。

このような中、本県の普及活動では、農業経営の安定化や地域農業の核となる経営体の持続的発展を図るため、「人・農地プラン」の法定化に伴い市町村が取り組む「地域農業経営基盤強化促進計画」の策定支援をはじめとして、「みどりの食料システム戦略」の推進、「デジタルトランスフォーメーション」やスマート農業技術をはじめとするアグリテックの導入による生産性の向上、高度環境制御技術を導入した施設園芸や大規模露地園芸に取り組む経営体の栽培技術の定着と効率的な栽培体系の確立、資材価格高騰を背景とした堆肥等の有効活用を推進する耕畜連携、新たな担い手の確保・育成及び女性農業者の活躍に関する取組などを重点的に支援しております。

県内9カ所の農業改良普及センターの普及指導員と農業革新支援専門員は、以上のような取組をはじめ34のプロジェクト課題に精力的に取り組んでおり、本書では、令和5年度に完了した課題を中心に、その成果を取りまとめております。

農業改良普及センターでは、今後とも市町村、農業団体、農業者等と連携し、「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画（令和3年3月策定）」に掲げるキャッチフレーズ「『共創力強化 ～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～』のもと、「豊かな食」、「儲ける農業」の実現を目指して農業現場の課題解決に取り組むとともに、「活力ある農村」を次の世代につなげるため、農業者のみならず食に係る全ての事業者や消費者の連携を推進してまいりますので、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

令和6年6月

宮城県農政部長 橋本 和博

目次

I プロジェクト課題の活動事例 みやぎの農業を担う次代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化

1 先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援

- (1) 土地利用型法人の経営発展を目指して
新たな品目・技術導入による土地利用型法人の経営発展
農事組合法人長岡グリーンサポート、農事組合法人志賀……………亘 理 2
- (2) 地域の農業を支え続けるために
農村の維持発展を支える法人経営の体質強化
農事組合法人あきう生産組合（役員8人）……………仙 台 4
- (3) 集落営農における大豆生産及び法人経営の安定を目指して
集落営農における大豆生産及び法人経営の安定化
農事組合法人ふくおか 理事7人……………栗 原 6
- (4) 復旧農地を担う大規模法人の課題解決に向けて
長面地域における大規模土地利用型経営体の持続的な水田農業の実現
株式会社宮城リスタ大川、株式会社ゆいっこ、農事組合法人みのり……………石 巻 8
- (5) 枝もの用クロマツの生産安定を目指して
市場等ニーズに応じた花き・花木生産による経営発展
株式会社南三陸Pine Pro……………気仙沼 10
- (6) 四季成りいちごの生産安定化に向けて
四季成りいちごの生産体制確立による収量確保
有限会社水山養殖場……………気仙沼 12
- (7) アグリテックを有効活用した省力的・効率的な農業生産
農業経営の効率化に向けたアグリテックの活用
アグリテックを導入した大規模土地利用型経営体8法人……………革 新 14
- (8) 農地整備を契機にした地域農業の発展
名取市下余田2期地区における農地整備を契機にした地域農業の発展
下余田2期地区活性化推進委員会（24人）、
下余田2期地区担い手経営体（10人（農業法人設立予定者含む））……………亘 理 16
- (9) 将来ビジョンの明確化に向けた地域の合意形成支援
農地整備を契機とした地域営農体制の構築
清水集落営農組合員23人……………大 崎 17
- (10) 地域を担う農業法人の更なる発展を目指して
土地利用型法人の経営戦略の策定と持続的経営の展開
農事組合法人おおぬき彩土里ファーム（役員6人）……………美 里 18

2 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援

- (1) 若手いちご生産者の技術向上と交流を支援
次代を担ういちご生産者の環境制御技術等の習得による生産性向上
栽培を開始して1～3年のいちご生産者8人
（波及対象者：管内いちご生産者及びいちご生産法人）……………亘 理 20
- (2) 若手果樹生産者の連携の強化を目指して
果樹産地の維持・発展に向けた若手果樹生産者を中心としたネットワーク構築
管内若手果樹農家（14人）……………大河原 22
- (3) 産地維持に向けて！今やらなくてどうする！
小ねぎ産地における次世代の人材育成
JAいしのまきスリムねぎ部会青年部（11人）……………石 巻 23

3 先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援

- (1) 水稻乾田直播栽培の普及拡大を目指して

水稲乾田直播栽培の技術定着による収量向上

水稲乾田直播栽培実践農家3経営体

(波及対象者：水稲乾田直播栽培勉強会メンバー16経営体) ……仙台 24

4 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援

(1) 農地整備を見据えた土地利用型法人によるえだまめの導入・定着

土地利用型法人によるえだまめ生産体系の導入・定着

有限会社薬師農産、農事組合法人かすかわ ……仙台 26

(2) 水田でのにんじん作付の定着を目指して

土地利用型農業法人が取り組む加工業務用のにんじんの生産安定

農事組合法人タカギ農産、農事組合法人中塚ファーム育み、農事組合法人中田アグリ、

農事組合法人サンファームあがと、農事組合法人みらいす青生(5経営体) ……美里 28

(3) 加工用ばれいしょの収量向上と担い手の育成

金成津久毛地区における高収益作物導入・定着

津久毛地区担い手3経営体

(個別経営体1人、農事組合法人平形農園、株式会社アグリ東北) ……栗原 30

(4) 加工用ばれいしょの生産拡大を目指して

加工用ばれいしょ栽培技術の向上

登米ぼてと組合(6人) ……登米 32

(5) 地域のモデルとなる園芸法人の収量アップ

地域のモデルとなる園芸法人の育成強化

有限会社サントマト石巻、株式会社D a n n y F a r m、

株式会社絆粋ファーマーズ ……石巻 34

(6) 直売所における地域特産品の生産振興

地域特産とうもろこし、そらまめの生産振興による直売所の販売額拡大

村田ファームーズ(会員103人) ……大河原 36

(7) 更なるたまねぎの生産拡大・振興に向けて

仙南たまねぎの環境に配慮した栽培方法による生産拡大

J Aみやぎ仙南たまねぎ部会17人

(波及対象者：その他たまねぎ生産者及び新規作付希望者) ……大河原 37

(8) 利府なし産地の活性化に向けて

次代を担う生産者の育成による梨産地活性化

J A仙台利府梨部会 部会員4人(波及対象者：同部会員61人) ……仙台 38

5 収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援

(1) 水田農業の新たな輪作体系の確立に向けて

子実用とうもろこしを含む水田農業の輪作技術体系の確立

農事組合法人アグリ高倉(構成員3人)、(波及対象者：J A古川大豆・

麦・子実用トウモロコシ生産組織連絡協議会(88組織)) ……大崎 39

II プロジェクト課題の活動事例 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給

1 みやぎの食と農への理解促進と安全・安心な農畜産物生産の取組支援

(1) 加美地域の高品質ねぎの周年出荷に向けて

ねぎ産地における冬越し囲い栽培の安定化と環境にやさしい栽培技術の取組拡大

J A加美よつばねぎ部会若手生産者3人、J A加美よつばねぎ部会員77人、

株式会社清流しかま、タカノー産業株式会社 ……大崎 42

2 多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援

(1) さつまいもの栽培技術及び貯蔵管理技術向上による安定生産を目指して

さつまいもの産地育成

株式会社やまもとファームみらい野、株式会社おひさま村 ……亘理 44

III プロジェクト課題の活動事例 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築

1 地域資源や地域の特色を活かした営農・所得確保等に向けた取組支援

- (1) 若手農業者と取り組む中山間地農業の活性化
中山間地農業の核となる農産物直売所の組織運営能力向上
農事組合法人やくらい土産センターさんちゃん会理事6人(組合員196人)、
プラビラボ8人(うちさんちゃん会会員3人)……………大 崎 46

2 関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援

- (1) 集落営農組織の体制強化と経営発展に向けて
集落営農組織の体制強化と経営発展
県内集落営農組織
(「地域を守る、集落営農モデル支援事業」の支援対象7組織)……………革 新 48
- (2) 地域農業を未来につなぐ「地域計画」の作成
地域農業の維持・発展に向けた地域計画の作成と実践
村田町菅生地区土地利用型農業次世代担い手
(菅生農業生産組合(5人)、2経営体(2人))……………大河原 50
- (3) 地域農業の持続的な発展を目指して
担い手を核とした地域農業の継続・発展
表山田・三段田地区の中心経営体2経営体及び主要農家8人……………気仙沼 51

3 環境に配慮した持続可能な農業生産の取組支援

- (1) 栗っこズッキーニの収益力向上を目指して
人と環境にやさしいズッキーニ栽培と収益力の向上
J A新みやぎ栗っこズッキーニ部会……………栗 原 52
- (2) 耕畜連携で黄金の里の「夏黄金」生産向上を
堆肥の活用と施肥方法の改善による麦類の品質・収量の向上
涌谷町麦類生産者(14経営体)……………美 里 54
- (3) 「グリーンな栽培体系」の普及拡大を支援
グリーンな栽培体系の実践による持続可能な稲作経営の実現
グリーンな栽培体系の実践を指向する生産者5人
(波及対象者：J A みやぎ登米稲作部会連絡協議会の会員23人)……………登 米 55

IV 各農業改良普及センターの重点活動と一般活動の紹介

1	大河原農業改良普及センター	58
2	亘 理農業改良普及センター	60
3	仙 台農業改良普及センター	62
4	大 崎農業改良普及センター	64
5	美 里農業改良普及センター	66
6	栗 原農業改良普及センター	68
7	登 米農業改良普及センター	70
8	石 巻農業改良普及センター	72
9	気仙沼農業改良普及センター	74

V 令和5年度農業普及関係各種表彰事業受賞者概要 …… 78

VI 令和5年度農業改良普及事業関係主要行事実施状況 …… 82

VII 令和5年度各農業改良普及センタープロジェクト課題一覧 …… 83